『臨床検査データブック 2021-2022』を
貴社製品の最も効果的な広告媒体としてご利用ください

TEST SELECTION AND INTERPRETATION

臨床検査 データブック

LAB DATA 2021-2022

写真は前版

監修

高久史磨 地域医療振興協会・会長

編集

黒川 清 日本医療政策機構・代表理事

春日雅人 朝日生命成人病研究所・所長

北村 聖 地域医療研究所・シニアアドバイザー

編集協力

大西宏明 杏林大学・教授

医学書院

“考える検査”をサポートする検査値判読マニュアル

- 「検査各論」で約 820 項目の検査、「疾患と検査」で約 280 の疾患に関する検査を解説。
- 巻頭にカラー図譜 [血液型判定・交差適合試験] [血液細胞像] [グラム染色] [尿沈渣] を掲載。
- 臨床の現場で必要な情報をすぐにピックアップできるよう小見出しをきめ細かく整理。
- 「疾患と検査」では疾患名から必要な検査を調べることができ、診断の確認、経過観察の目安、知っておきたいポイントを精選して記載。検査項目との参照がより使いやすく。
- 検査値に影響を与える薬剤について「薬剤影響」の小見出しで解説。
- 隔年発行により「新規保険収載項目」「試薬販売中止・測定法の変更」など最新情報を掲載。
- 付録として「日本人小児の臨床検査基準値」「保険点数一覧（臨床検査分野）」「臨床検査値に影響を及ぼす薬剤」等を収載。

2021-2022 年版の改訂

- [検査各論]：読者ニーズにこたえ、「特定の背景を有する患者」（腎機能障害患者、肝機能障害患者、妊婦、授乳婦）と「小児・高齢者」に特有の傾向、判読上の留意点の追加。
- [疾患編]：「皮膚」・「乳腺」・「小児」・「高齢者」の疾患を追加。参考にすべき国内の診療ガイドライン名の追加。
- SARS-CoV-2 と COVID-19 に関する情報も掲載。

304 ● 内分泌学的検査

エストリオール[E₃] estriol ④* 180点 ②

基準値

- 妊婦血中 E₃
 - ・ 妊娠前期：20 ~ 100 pg/mL
 - ・ 妊娠中期：100 ~ 10,000 pg/mL
 - ・ 妊娠後期：10,000 ~ 40,000 pg/mL
- 妊婦尿中 E₃
 - ・ 妊娠 21 ~ 24 週：6,700 ~ 23,700 μg/日
 - ・ 妊娠 25 ~ 28 週：8,250 ~ 31,500 μg/日
 - ・ 妊娠 29 ~ 32 週：9,450 ~ 33,400 μg/日
 - ・ 妊娠 33 ~ 36 週：11,500 ~ 74,200 μg/日
 - ・ 妊娠 37 ~ 40 週：17,400 ~ 87,300 μg/日

測定法

- ・ 血清：ECLIA, RIA
- ・ 尿：RIA

検体量

- ・ 血清 0.4 mL
- ・ 尿 3 mL

日数 8 ~ 14 日

目的 胎児・胎盤機能の評価

NOTE *保険適用：妊娠 32 週以降の妊婦に適用。32 週未満の場合は測定理由の注記が必要。

Decision Level

- 血中 E₃
 - 高値(主として妊婦中)
 - [可能性] 多胎妊娠, 肝疾患(男性) 【対策】画像診断や血清生化学検査による診断と原疾患の治療
 - 低値
 - [可能性] 胎状奇胎, 無脳児妊娠, 子宮内胎児死亡, 胎児赤芽球症, 子宮内胎児発育遅延, 胎児胎盤機能不全, 胎盤サルファターゼ欠損症, 胎盤アロマトラーゼ欠損症, 重症妊娠高血圧症候群 【対策】画像診断および産婦人科学的診断と原疾患の治療
- 尿中 E₃ 値による胎児・胎盤機能
 - 妊娠 32 ~ 36 週
 - [警戒値] 10 ~ 15 mg/日 【危険値】 10 mg/日以下
 - 妊娠 37 ~ 38 週
 - [警戒値] 15 ~ 20 mg/日 【危険値】 15 mg/日以下
 - 妊娠 39 ~ 41 週
 - [警戒値] 15 ~ 25 mg/日 【危険値】 15 mg/日以下

異常値のメカニズムと臨床的意義

E₃ は、エストラジオール(E₂)同様、主として胎盤および卵巣にて合成される。また、妊娠中は胎児副腎にて産生されたアンドロゲンであるデヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)は、胎児肝で 16α-ヒドロキシラーゼにより 16α-OH-

DHEA-S に転換後、胎盤にて E₃ が合成される。したがって、胎児の副腎、肝臓、あるいは胎盤の機能低下により E₃ 値も低下する。妊婦尿中エストロゲンの大部分は E₃ であり、胎児・胎盤機能をよく反映する指標となる。すなわち、多胎妊娠や巨大児では高値となり、子宮内胎児死亡、無脳児、胎状奇胎、重症妊娠高血圧症候群などでは低値となる。また胎児が正常であっても、サルファターゼ欠損などの胎盤酵素欠損症で低値となる。

【見逃してはならない異常値】「尿中 E₃ 値による胎児・胎盤機能」を参照し、警戒値・危険値を示す場合は、胎児胎盤機能不全の可能性が高い。胎児死亡などの危険があるため、適切な産科的処置が必要な場合がある。

【関連する検査】 卵巣・胎盤機能検査としては、総エストロゲン、エストラジオール(E₂)、プロゲステロン、ヒト絨毛性ゴナドトロピン、ヒト胎盤性ラクタゲン(HPL)などがある。胎盤機能不全を疑った場合は、適宜 E₂ や HPL などを併用する。

判読 ① E₂ 同様、血中および尿中 E₃ も、性別(女性>男性)、年齢(思春期前は低く、思春期以降に上昇し、閉経後 2 年くらいで低下する)、性周期、妊娠の有無およびその週数、さらに個体差による変動が大きく、また測定法、検査施設で基準値も異なるので注意が必要である。② 栄養状態による変動が大きい。③ 日内変動があるので、採血時間に注意する必要がある。④ 母体が肝または腎機能障害を有すると尿中 E₃ 値が低値となるので注意が必要である。

採取保存 ① 採血後、速やかに血清を分離し、-20℃以下で凍結保存する。② 尿は 24 時間完全蓄尿とし、尿量を記載し一部を凍結保存する。

薬剤影響 ① (E₂) オキシトシン点滴中の妊婦血中 E₃ は上昇する。② (E₂) デキサメタゾンやベタメタゾンなどのステロイド剤、抗甲状腺薬、アンピシリン(ABPC)などの投与で低下する。

測定前後の患者指導 ① 妊娠週数を記載しておく。② 摂食や体位による影響はない。③ 日内変動があるので採血時間を一定にする。④ 検査前に、測定値に影響する薬剤を中止する。

保険注意 ① E₃ は、妊婦においてのみ保険適用がある。② エストロゲンについては、E₃ または E₂ と同時に実施した場合は算定できない。

推奨する総説 岩原由樹ほか：エストロゲン(エストラジオール、尿中エストリオール)、プロゲステロン、medicina 52：380-383, 2015
(飯高 誠, 片山茂裕)

目 次

カラー図譜

【臨床検査の考え方と注意事項】

【検査計画の進め方】

【基本検査テクニック】

【検査各論】

<(1) 生化学検査>

- 血清蛋白質
- アミノ酸・窒素化合物
- 鉄代謝
- 血清酵素
- 血清ビリルビン
- 脂質
- 電解質・金属
- 血液ガス
- ビタミン
- 機能検査

<(2) 内分泌学的検査>

- 下垂体
- 甲状腺
- 副甲状腺
- 副腎髄質・交感神経
- 副腎皮質
- 性腺・胎盤
- 糖代謝
- 骨・ミネラル代謝
- 消化管ホルモン
- 生理活性

<(3) 血液・凝固・線溶系検査>

- 血球検査
- 凝固・線溶系検査

<(4) 免疫血清検査>

- 補体
- 免疫グロブリン
- 自己抗体
- 免疫細胞

<(5) 感染症検査>

- 感染症遺伝子検査
- 塗抹検査
- 一般細菌の培養検査
- 薬剤感受性試験
- 抗酸菌
- 真菌
- 一般細菌
- 検査材料からの直接抗原検出
- 一般細菌以外の培養・同定困難な菌
- 微生物産生物・代謝産物
- 肝炎ウイルス
- ATLV・HIV

■その他のウイルス

■感染・炎症マーカー

<(6) 腫瘍・線維化マーカー>

■腫瘍マーカー

■線維化マーカー

<(7) 癌細胞遺伝子検査>

<(8) 遺伝学的検査>

<(9) 尿検査>

<(10) 糞便検査>

<(11) 細胞診>

<(12) 血液・尿以外の検査>

<(13) 薬物・毒物>

■薬物

■毒物

■薬物代謝酵素の遺伝子診断

■薬物治療効果判定

【疾患と検査】

■呼吸器疾患

■循環器疾患

■消化管疾患

■肝・胆・膵疾患

■代謝・栄養疾患

■内分泌疾患

■血液・造血器疾患

■腎・尿路疾患, 水電解質異常

■神経疾患

■感染症, 性病, 寄生虫疾患

■リウマチ性疾患・アレルギー性疾患・免疫不全症

■皮膚疾患

■産婦人科・乳腺疾患

■小児疾患

■高齢者疾患

■中毒

【付録】

特定健康診査と保健指導対象者の選定

日本人小児の臨床検査基準値

保険点数一覧（臨床検査分野）

有害事象共通用語基準 v5.0 日本語訳 JCOG 版

共用基準範囲（JCCLS）

検査値に影響を及ぼす薬剤一覧

パニック値とその原因病態・危険病態

索引

記号・数字・欧文索引

和文索引

上記【 】・〈 〉の項目の対向ページに広告掲載が可能です。

（■で示した小項目対向にて広告掲載はできません）

臨床検査データブック

2021-2022

■ 書籍データ

判 型：B6 判ビニール上製・2色刷

予定ページ数：約 1,100 ページ

予定販売価格：¥4,800（税別）

発行部数：18,000 部

発行予定：2021 年 1 月

発行行：医学書院

読者対象：全医療関係者（医師、臨床検査技師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、医療事務など）

■ 広告料金

本文モノクロ・1 頁 ¥100,000（税別）

モノクロ位置指定・1 頁 ¥120,000（税別）

しおり・1 葉 ¥300,000（税別） 完成品を納品いただきます。

■ 広告原稿

デジタルデータ（出力見本を添付してください。）…モノクロ完全データで入稿ください。（作成アプリケーションを明示のうえ、アウトライン化してください。）

■ サイズ

B6 サイズ・1 頁：天地 160 mm / 左右 110 mm（枠付）

※ブリード（裁ち落とし） 広告はお引き受けできません。

■ 広告申込締切日 2020 年 10 月 30 日（金）

■ 広告データ締日 2020 年 11 月 6 日（金）

〈広告掲載社には 1 ページにつき 1 部掲載見本を贈呈いたします。〉

■ 広告取扱社